

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

イザ 40:1 「慰めよ。慰めよ。わたしの民を」とあなたがたの神は仰せられる。

40:2 「エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。その労苦は終わり、その咎は償われた。そのすべての罪に引き替え、二倍のものを主の手から受けたと。」

40:3 荒野に呼ばわる者の声がする。「主の道を整えよ。荒地で、私たちの神のために、大路を平らにせよ。

40:4 すべての谷は埋め立てられ、すべての山や丘は低くなる。盛り上がった地は平地に、険しい地は平野となる。

40:5 このようにして、主の栄光が現されると、すべての者が共にこれを見る。主の御口が語られたからだ。」

40:6 「呼ばわれ」と言う者の声がする。私は、「何と呼びましょう」と答えた。「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。

40:7 主のいぶきがその上に吹くと、草は枯れ、花はしぼむ。まことに、民は草だ。

40:8 草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ。」

40:9 シオンに良い知らせを伝える者よ。高い山に登れ。エルサレムに良い知らせを伝える者よ。力の限り声をあげよ。声をあげよ。恐れるな。ユダの町々に言え。「見よ。あなたがたの神を。」

40:10 見よ。神である主は力をもって来られ、その御腕で統べ治める。見よ。その報いは主とともにあり、その報酬は主の前にある。

40:11 主は羊飼いのように、その群れを飼い、御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。

40:31 しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。

Isa 40:1 "Comfort, yes, comfort My people!" Says your God.

40:2 "Speak comfort to Jerusalem, and cry out to her, That her warfare is ended, That her iniquity is pardoned; For she has received from the Lord's hand Double for all her sins."

40:3 The voice of one crying in the wilderness: "Prepare the way of the Lord; Make straight in the desert A highway for our God."

40:4 Every valley shall be exalted And every mountain and hill brought low; The crooked places shall be made straight And the rough places smooth;

40:5 The glory of the Lord shall be revealed, And all flesh shall see it together; For the mouth of the Lord has spoken."

40:6 The voice said, "Cry out!" And he said, "What shall I cry?" "All flesh is grass, And all its loveliness is like the flower of the field."

40:7 The grass withers, the flower fades, Because the breath of the Lord blows upon it; Surely the people are grass.

40:8 The grass withers, the flower fades, But the word of our God stands forever."

40:9 O Zion, You who bring good tidings, Get up into the high mountain; O Jerusalem, You who bring good tidings, Lift up your voice with strength, Lift it up, be not afraid; Say to the cities of Judah, "Behold your God!"

40:10 Behold, the Lord God shall come with a strong hand, And His arm shall rule for Him; Behold, His reward is with Him, And His work before Him.

40:11 He will feed His flock like a shepherd; He will gather the lambs with His arm, And carry them in His bosom, And gently lead those who are with young.

40:31 But those who wait on the Lord Shall renew their strength; They shall mount up with wings like eagles, They shall run and not be weary, They shall walk and not faint.

「主を待ち臨む者は新しく力を得る。」 イザヤ 40 章 1~11.31 節

聖書の章節は後代になって引き易い為につけられたものですが、イザヤ書66章は聖書の書の数と同じであり、新約聖書と同じ40番目の40章から「慰めよ。慰めよ。わたしの民を」(一)と叫ばれ、「その労苦は終わり、その咎は償われた。そのすべての罪に引き替え、二倍のものを主の手から受けた。」(二)という福音が宣言されます。

イスラエルの民は勝手で、神に思い通りのことを要求し、決して神に仕えているわけではなく、そうして捕囚という大きな罰則を受けることになるのです。39章では、宮殿にある物は全てバビロンに運び去られ、ヒゼキヤ王の息子たちはバビロンで宦官になると預言されるのに、「自分が生きている間は平和で安全だろう」(8)と思い、喜ぶ愚かさをヒゼキヤ王は表わしています。

実際の捕囚の前に開放を伝え、それが45章1節のペルシャ王クロスという将来の未知の王によるものであるという超自然的な預言と、それをダニエルが実際にクロス王に伝えるということを実現するのです。

皆さんが確認しておかなければならないことは、これらが起こるのはイスラエルの能力や努力ではなく、信仰でもありません。「見よ。神である主は力をもって来られ、その御腕で統べ治める。」(10)。

2週間に亘って、北イスラエルは完全に滅び、南ユダは捕囚を経て信仰が強まり、現在の強固な信仰を保つ民族に変えられたことをお話ししました。その違いは何でしょうか。北イスラエルは、信仰の民ではなく、南ユダはダビデの子孫が王を続け、そして預言者が働き、信仰はある程度持つていたことによる違いです。神は、この民を「羊飼いのように、その群れを飼い、御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。」(二三)ことをされたのです。つまり、選びと信仰の民としての可能性です。彼らが信仰者として成長する余地を見たのです。そして、優しく育てたのです。

先週の執事会では、別帳になる教会員のリストを挙げました。教会に来ず、献金もせず、洗礼の時に約束した簡単なこと、「①礼拝に出られない時は連絡する。②毎月定額の献金をする。」を2年以上守っていない人は、教会員としての権利を行使することはできなくなり、教会の祈りと牧会の範囲から抜けます。元に戻る為には、2年以上滞りなく、それを全うすることが必要で、その間、聖餐式に加わることはできません。

これらも教会員を信仰者として教育するためです。おぎなりの信仰姿勢で神の国に行けるはずがありません。「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。」(9)。人は、その功績も能力もおごり高ぶるほどのものではなく、ただ花が咲いたようなものです。「まことに民は草だ。」(7)。「だが、私たちの神のことは永遠に立つ。」(8)という神の主権を認めなければなりません。「教会に来てあげている。献金している。」などという態度の人は、結局のところ神に排除されます。牧師としての長い年月で、そのような神の手を感じてきました。信仰とは、誠実な人でなければ保てるものではありません。神は御前から、傲慢な者、不遜な者を排除するのです。

「全ての国々も主の前では無いに等しく」(40・17)。「あなた方は目を高く上げて誰がこれらを創造したかを見よ。」(26)。「私の訴えは私の神に見過ごされている。」(27)と言い張る人々。信仰者といえども多くの人が、自分の状況に制限されて歩んでいます。バビロン捕囚から解放して、神殿再建をさせたことは、状況としては不可能なことでした。神は、愛する者、信じる者に対して、「羊飼いのように、その群れを飼い」として守り、育ててくださるのです。解放預言は、その宣言です。

今日は、高齢者祝福式です。高齢者の特徴は、度胸が据わっていることかもしれません。主を待ち臨むことは勇気が必要です。勇気をもって行動しないと、言い訳と負け惜しみの人生となってしまいます。「若い者も疲れ力尽き、若い男たちも、躓き倒れる。」(8)。「しかし」なのです。

「しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができ、走つてもたゆまず、歩いても疲れない。」(31)

「神の御手に委ねる。」として何もしない人は、怠惰なだけです。なにかをして失敗することが怖いだけです。祈祷会では、人は御霊に導かれることをせず、自分の判断で自分の汚れた霊に左右されて行動する、と伝えました。大事なことは、主が何かを自分にしてくださると、「主を待ち臨む」のです。

妻も私もコロナの最前線におります。十分な注意をして、なにかあったら、すぐに対応し、最善を尽くします。恐れたら、医療などできません。神の手に委ねるとしていたら、感染するでしょう。むしろ、感染することとは覚悟しております。それでも、主を待ち臨み、力を得るのです。